**2019年5月17日**

**スライド１　表紙**

**社長の夏井でございます。**

**どうぞよろしくお願い致します。**

**本日は多くの企業の決算説明会が集中している中、**

**当社の決算説明会にご出席をいただき、**

**誠にありがとうございます。**

**さて、2018年の建設業界の動向を振返ってみます。**

**スライド２　業界動向**

**建設業界は、**

**民間設備投資の堅調な推移や、**

**都心を中心とした再開発など不動産関連投資が**

**引き続き好調な中、技術者・技能労働者の不足や**

**資機材・労務費の上昇が顕著となっており、**

**ＡＩやＩｏＴを活用した技術革新への対応や、**

**長時間労働対策、働き方改革による生産性向上への取り組み、**

**また、環境、社会、ガバナンス、**

**いわゆるＥＳＧを経営の基軸とする潮流や**

**ＳＤＧＳへの取り組みは不可欠なものとなってきております。**

**このような環境の中、２０１７年度からの中期経営計画**

**「SNK Value Innovation　２０２０」に基づく、**

**2年目の事業運営を行ってまいりました。**

**本日は、その業績をご報告致します。**

**スライド３　目次**

**それでは、目次に従いましてご説明致します。**

**最初に、一昨日、決算短信を公表しました**

**２０１８年度連結決算の概要についてご説明致します。**

**スライド４　受注高、繰越高**

**まず、受注高は、**

**前年比5．4％増の１，２05億3千万円となりました。**

**繰越高は、**

**前年比2．1％減の８52億4百万円となりました。**

**スライド５　完工高、利益**

**また、完工高は**

**前年比９．５％増の１，２２３億８千９百万円となりました。**

**完工総利益は、**

**１１２億５千２百万円、完工総利益率は９．２％、**

**営業利益は、**

**９．１％減の３８億８千５百万円、**

**経常利益は、**

**８．８％減の４２億３千５百万円、**

**当期純利益は、**

**１０．３％減の３０億９千５百万円となりました。**

**次に、連結貸借対照表について、概要をご説明致します。**

**スライド６　貸借対照表**

**ご覧のように「資産合計」は、**

**前年比37億5千8百万円増の1，０２０億2千5百万円と**

**なりました。**

**その主な要因は、期末に工事が集中し、**

**「受取手形・完成工事未収入金等」が**

**６３億４百万円増加したことによるものです。**

**次に「負債合計」は、前年比37億１千3百万円増の、**

**５89億6千百万円となりました。**

**その主な要因は、完成工事未収入金と同様、**

**期末に工事が集中し、「支払手形・工事未払金」が**

**14億1千万円増加したこと、**

**「短期」が２８億２千２百万円増加したことに**

**よるものです。**

**次に「純資産合計」は、前年比４千5百万円増の**

**４３０億6千4百万円となりました。**

**主な要因は、「株主資本」において利益剰余金が**

**１８億８千６百万円増加したこと、**

**自己株式取得により１７億４千７百万円減少したことに**

**よるものです。**

**次に、**

**分野別の受注高・完工高の実績についてご説明致します。**

**スライド７　分野別受注実績**

**受注高について、**

**国内一般の新築分野は、**

**前年比０．５％減の３９５億８千7百万円、**

**リニューアル分野は、**

**前年比２０．４％増の５５３億２百万円、**

**また、原子力分野は、**

**前年比３５．６％減の７７億６千９百万円となりました。**

**国内関係会社は、**

**前年比1９．１％増の８8億6千万円、**

**海外関係会社は、**

**前年比0．9％減の90億９百万円となりました。**

**スライド８　分野別受注の概要**

**分野別の受注高の概要をご説明致します。**

**新築分野は、都市部での再開発案件、**

**電子デバイスなどが好調で、前年並みの結果となりました。**

**リニューアル分野は、大型の保健・産業案件が**

**寄与した結果であります。**

**原子力分野は、前年の福島廃炉新築案件の**

**反動もあり減となりました。**

**国内関係会社は、日宝工業での自動車産業関連が好調で、**

**前年比増となりました。**

**海外関係会社は、シンガポールにおけるデータセンター、**

**上海での日系産業案件が好調でした。スライド９　分野別完工実績**

**次に、完工高について、**

**国内一般の新築分野は、**

**前年比１２．４％増の４９９億６千４百万円、**

**リニューアル分野は、**

**前年比１２．９％増の４８３億６千万円、**

**また、原子力分野は、**

**前年比１２．１％減の７７億３千５百万円となりました。**

**国内関係会社は、**

**前年比１３．２％減の８３億百万円、**

**海外関係会社は、**

**前年比３２．1％増の８0億２千７百万円となりました。**

**スライド１０　分野別完工実績の概要**

**分野別完工高の概要をご説明致します。**

**まず、新築分野の完工高の増は、大型産業、**

**首都圏再開発案件が進捗しました。**

**リニューアル分野の完工高の増は、**

**オフィスビル、空港、電子デバイスが好調でした。**

**原子力分野は、**

**新規制基準対応案件の期ズレによるものです。**

**国内関係会社は、**

**日宝工業の大型案件の反動によるものです。**

**海外関係会社は、上海での日系産業案件、**

**モルジブでの大型リゾートホテルが順調に進捗しました。**

**スライド１１　決算のポイント**

**201８年度の決算を総括致しますと、**

**受注環境は依然好調さを維持しており、**

**受注高は、９期連続の増、**

**完工高は、手持ち工事が順調に進捗し、**

**４期連続の増となり、過去最高となりました。**

**結果、受注高・完工高ともに個別決算で**

**1,000億円を達成しました。**

**一方、受注環境は好調なものの、利益については、**

**前年比マイナスとなり、**

**資機材・労務費の上昇の影響を受けた結果と言えます。**

**２０１９年度は、これらに対する取組が重点課題であり、**

**手持ち工事量と施工体制のバランスを考慮した受注、**

**人的リソースの確保と適切な配分、更なる生産性の向上等に**

**取り組んでまいります。**

**スライド１２　目次**

**次に、２０１９年度の業績見通しをご説明致します。**

**スライド１３　分野別受注計画**

**受注環境は、前年度同様、首都圏の再開発、**

**エネルギープラント、データセンター、電子デバイス、**

**医療・医薬関連、原子力など**

**国内外ともに好調と予想しておりますが、**

**先ほどご説明した通り、**

**手持ち工事量と施工体制のバランスを見ながら、**

**個別９７０億円、連結１，１５０億円を見込みます。**

**スライド１４　分野別完工計画**

**また、完工高は、個別９７0億円、連結１，１５０億円**

**となる見通しです。**

**スライド１５　損益見通し**

**損益見通しは、**

**当期利益として３７億円を目指す計画でございます。**

**スライド１６　中期経営計画の業績と2019年計画**

**201７年度からの中期経営計画の実績と2019年度計画は、**

**ご覧の通りであり、と**

**ＲＯＥは８％以上を目標とします。**

**スライド１７　目次**

**続きまして、中期経営計画の進捗成果と今後の展望について**

**ご説明いたします。**

**スライド１８　中期経営計画　イメージ図**

**2019年度は、2017年度からスタートした**

**3か年経営計画、**

**「ＳＮＫ Ｖａｌｕｅ Ｉｎｎｏｖａｔｉｏｎ ２０２０」の**

**最終年度を迎えます。**

**スライド１9　ブランドの再定義**

**当新日本空調は、設立５０周年を迎える２０１９年を**

**次の50年への「飛躍の年」と位置付けており、**

**当社グループが将来に向けて、**

**更なる持続的成長と企業価値の創造を見出し、**

**社会に貢献し続ける企業体であるために、**

**企業ブランドのリファインを行いました。**

**昨年度より、将来を担う20代から40代の社員約40名による**

**タスクチームをスタートさせ、全社員とお客様からアンケートを**

**集め、当社の将来像に対し、残すべきDNA、持つべき価値観、**

**そして今後期待される役割を、使命と価値観としました。**

**既にホームページで公開をしておりますが、**

**改めてご紹介致します。**

**スライド２０　企業理念の再定義**

**「Fill your tomorrow」**

**「社会と自然の調和を育み、未来へ向けた思いを満たす。」**

**でございます。**

**私たちの「存在意義」を、当社の使命とし、**

**事業の広がり、グローバル、未来志向、**

**人とのつながりを表現しています。**

**そして、調和、探究、真摯、絆（きづな）の四つを**

**「私たちが大切にしていること」、**

**すなわち価値観として表現いたしました。**

**今後は、10月1日の周年記念日に向け、様々なブランド戦略を**

**展開してまいりますのでご期待ください。**

**それでは、中期経営計画の201８年度の進捗成果を紹介しながら、今後の展望ついてご説明致します。**

**お手元の資料にはない動画もございますので、**

**前方のスクリーンをご覧ください。スライド２１　今後の見通し（１）**

**まず、今後の見通しについてご説明いたします。**

**首都圏の再開発は、**

**２０２０年以降一旦落ち着きを見せるものの、**

**その後　都心中心部では複数の再開発が**

**集中していくことが予想されております。**

**これら再開発においては、エネルギーのスマート化が**

**さらに進むものと考えられます。**

**この分野において、当社は既に多くの実績があります。**

**事例として、三井不動産殿が進める**

**「日本橋スマートシティプロジェクト」を**

**ご紹介させていただきます。**

**スライド２２　日本橋スマートシティプロジェクト事例**

**このプロジェクトは、日本で初めて施設周辺の**

**オフィスビルや商業ゾーンに対しても**

**電気と熱の供給を行い、エリア全体のスマートシティ化と、**

**非常時の防災拠点化が図られています。**

**エリア面積は日本橋室町周辺の１５万㎡が対象となっています。**

**これらの熱源の制御には、**

**当社独自開発の熱源最適制御システム「エナジークエスト」が**

**導入されております。**

**アニメーション**

**これは、お客様の省エネルギーやCO2排出量の削減に**

**貢献できる技術であり、２０１９年度も、**

**引き続きシステムのバージョンアップによる機能強化を図り、**

**２０２０年度以降の需要への対応を目指してまいります。**

**スライド２３　今後の見通し（２）**

**次に、建設ストックや公共インフラ更新の需要も**

**拡大することが予想されており、**

**高まる建設ストックのリニューアル需要に応えるべく、**

**３DスキャンとCADデータを活用した技術の**

**ご紹介を致します。**

**既存建物の内部をレーザースキャンしたデータと**

**CADデータを併用して展開する技術で、**

**ここでは、地域冷暖房プラントにおける**

**大型機器の入れ替え事例をご紹介致します。**

**スライド２４　搬入動画**

**ご覧の通り、搬入ルートと大型機器の干渉状況を**

**パソコン上で検討することが可能となりました。**

**これにより、短期間での搬入計画と**

**質の高いリニューアル工事をお客様に提供することが**

**可能となりました。**

**アニメーション**

**お客様の改修計画、工期短縮に貢献できるとともに、**

**当社の生産性向上にも貢献することが可能です。**

**201９年度は、この技術の高度化に努め、生産性向上、**

**お客様へのソリューション提案の迅速化を行っていきます。**

**スライド２５　エアロスリー**

**省エネルギーの観点では、**

**大空間向けのタスクゾーン省エネルギー空調である**

**「エアロスリー」を開発し、市場導入を行いました。**

**「エアロスリー」は、工場や倉庫などの大空間において、**

**人が作業する低層作業域のみを空調するシステムであり、**

**最大で40%の送風エネルギーの削減を実現しております。**

**スライド２６　エアロスリー動画**

**ただ今ご覧いただいているのは、**

**このシステムのキーテクノロジーである**

**新型吹出口からの気流の状況を可視化したものです。**

**気流が水平方向に行き渡っていることが**

**ご確認いただけると思います。**

**アニメーション**

**お客様の省エネルギー、**

**作業環境改善に貢献できる技術です。**

**スライド２７　シミュレーション、ＩＯＴ、ＡＩ**

**シミュレーション技術、ＩｏＴ技術、ＡＩの活用は、**

**省エネルギーや、現場の生産性向上に不可欠な技術であり、**

**これらの技術開発について、**

**2018年度の成果をご紹介致します。**

**スライド２８　流体シミュレーション**

**既存の音楽ホール内部形状の3Dスキャンによって得られた**

**データを用い、そこに流体解析で得られた**

**温度や気流分布のデータを重ね、立体的に表現することで、**

**最適な温熱環境を設計段階で計画することができます。**

**アニメーション**

**お客様の設備の付加価値向上、省エネルギーに貢献できる技術です。**

**そして、これら解析データを実際に施工した現場において、**

**検証するシステムについてもＩｏＴ技術を**

**使用し開発しております。**

**スライド２９　ワイムス**

**このシステムは、センシング装置からの情報をモバイル端末、**

**無線環境とクラウドを利用してデータを収集するものです。**

**現場での配線や、パソコンの持ち込みが不要であり、**

**現場における環境測定の生産性を飛躍的に向上させております。**

**アニメーション**

**これは、当社を含む環境測定作業の生産性向上に**

**つながる技術です。**

**また、ＡＩを活用したソリューションサービスについても**

**新たな技術を開発しております。**

**スライド３０　AI ＢＥＭＳ開発**

**この解析ソフトは、設備の運転データの、**

**運転状態の分析し、ビジュアル化を行うを行うソフトで、**

**異なる建物の様々な形式の運転データを**

**ＡＩ、Deep Learningを活用してマッチングを行うもので、**

**従来の解析に対し５０％の省力化が可能となりました。**

**アニメーション**

**お客様の省エネルギーニーズへの迅速な対応や、**

**情報の共有化に非常に効果的であり、**

**当社の生産性向上にも役立つ技術であります。**

**次は、当社注力事業領域である原子力分野と海外分野です。**

**スライド３１　成長戦略　原子力、海外**

**原子力分野では、**

**これまでの、原子力事業で培ってきた経験と**

**技術開発力を活かし、**

**新規制基準対応として、テロ対策施設、緊急時対策所、**

**安定化や廃炉に向けた総合的な取り組みを**

**強化してまいりました。**

**これらの取組は今後も継続しており、**

**当社としても、引き続き最大限これに貢献してまいります。**

**海外分野では、国際事業本部による三つの現地法人体制の**

**流動性を高めた展開を進めてまいりました。**

**スライド３２　海外展開**

**上海、シンガポール、スリランカの海外３現地法人と支店では、**

**各々の地域の特性を活かした事業を徐々に**

**拡大し、日本国内のみならず**

**海外にも事業展開をしているお客さまに対し、**

**日本と海外を面でサポートする**

**国内外ワンストップソリューションを展開しております。**

**日本から海外、あるいは海外から日本と、**

**お客様のニーズにタイムリーに対応し、**

**ＳＮＫの高い品質を日本、海外で引続き提供してまいります。**

**スライド３３　成長戦略　先端医療、医薬**

**将来に向けた投資と体制の強化の観点では、**

**成長分野であるiPS細胞に代表される再生医療分野や**

**先端医薬等の戦略事業領域に向けた対応も重要です。**

**2019年度は、医薬、医療技術の研究開発に資する**

**空調技術として、治験環境に空調技術を組込んだ、**

**再生医療向けユニットの開発を継続してまいります。**

**また、当社の独自技術である「微粒子可視化システム」も**

**さらなる進化を遂げております。**

**健康志向に対する取組としては、**

**新たに抗菌化水性塗料の開発、市場投入を行いました。**

**ここで、当社独自技術である微粒子可視化システムの**

**新たなラインアップについてご説明致します。**

**スライド３４　微粒子Ｔｙｐｅ－Ｓ**

**微粒子可視化システムType-Sの特徴は、**

**光源とカメラを一体化したモバイルタイプで、**

**機動性に優れ、毎秒30回の高速サンプリングにより、**

**リアルタイムな清浄度把握が可能です。**

**スライド３５　微粒子Ｔｙｐｅ－Ｓ動画**

**これは、**

**この製品のタッチパネルの画像で、  
中央で白く動いているのが当社クリーンルームで  
模擬的に発生させた微粒子です。  
画面下部に表示されているのが微粒子の数です。  
タッチパネル操作で、リアルタイムに微粒子の数の計測と**

**グラフでの表示や静止画の撮影が可能で、  
粉塵の発生源の特定などに効果を発揮します。**

**アニメーション**

**様々なお客様に対し、製造現場の歩留まり改善、品質向上、**

**環境評価に貢献することが期待できます。**

**スライド３６　ＩＣＴ活用**

**2019年度は、ICTの進化を踏まえたデジタル化を推進し、**

**業務効率化と自動化を促進させるとともに、**

**マーケット、顧客の求める最適なビジネスモデルへ進化、**

**変革させる全社活動を推進させます。**

**既にRPAについては、2018年度から導入を開始し、**

**10体のロボットを自社開発し運用中であります。**

**2019年度は、運用範囲を拡大し、業務効率を向上させ、**

**更なる生産性の向上を目指す所存です。**

**スライド３７　働き方改革**

**働き方改革によるワーク・ライフ・バランスの実現にも**

**取り組んでおり、「働き方改革実現プラン」として、**

**人づくり、生産性向上、働き方多様性の3つの課題を**

**掲げております。**

**人づくりにおいては、意識改革と人材育成、**

**生産性向上については、**

**業務効率化推進と業務処理の見直し、**

**働き方多様性については、**

**勤務の多様化を目的とした制度の見直しを推進しております。**

**このうち働き方多様性については、**

**テレワークの運用を2018年度から開始しており、**

**今年度は、さらに対象範囲を拡大してまいります。**

**今年4月から施行された改正労働基準法で義務化された**

**年5日間の有給休暇取得について、**

**これを連続5日間で取得する制度「SNK TAKE FIVE」を**

**導入しております。**

**スライド３８　ＥＳＧ経営**

**企業価値向上に向けたＣＳＲ活動も**

**引き続き推進しておりますが、**

**前年度は、ＥＳＧ経営に向けた体制を構築すべく、**

**ESG経営戦略室を設置いたしました。**

**中期経営計画の課題、**

**企業の社会的責任における7つの中核課題、**

**そしてSDGsが目指す17の課題を包含する**

**マテリアリティを特定し、その目標などを定め、**

**取組内容を社会に公表することで、**

**企業価値の向上に努める所存です。**

**以上、**

**中期経営計画の2018年度の進捗成果を紹介しながら、**

**今後の展望について概要をご説明致しました。**

**最後に利益配分に関する基本方針と**

**2019年度の配当についてご説明致します。**

**スライド３９　株主還元**

**当社は、**

**株主の皆様に安定的かつ継続的に成果の還元を行うことを**

**経営の最重要課題としており、**

**総還元性向５０％を指標として、**

**配当については、**

**当社グループの中長期的な成長へ向けた事業展開、**

**経営基盤の強化等を図りながら、**

**配当性向３０％以上を目標として、**

**安定的な配当を実施していくこととしております。**

**また自己株式取得につきましては、**

**発行済株式総数の１０％を上限に、**

**資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目的とし、**

**弾力的に対応していく予定です。**

**現在の3か年計画における、配当はスライドの通りで、**

**2019年度は、55円を予定しており、**

**予想配当性向は34.7％となる見通しです。**

**スライド４０　タイトルエンド**

**説明は以上となりますが、**

**最近のニュースリリース資料をお手許に配布しておりますので、**

**お読みいただきたいと存じます。**

**ご清聴ありがとうございました。**

**以上**